

全建発第15～133号
平成15年7月4日

行政機関の長 殿
土木等部門の長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木道雄



第477回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約10万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

このたびの第477回建設技術講習会では、「道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題」をテーマに、道路行政、港湾行政・漁港行政に係わる動向として、事業評価、環境保全、ローカルルール対応、バリアフリー化、情報化、維持管理、防災対策等の最新情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬 具



全建発第14～249号
平成15年1月6日

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北橋 建治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成15年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、平成13年4月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成15年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長殿



社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木道雄

第477回建設技術講習会 (道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成15年9月3日(水)～9月5日(金)、札幌市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では「道路行政、港湾行政・漁港行政に係わる動向として、事業評価、環境保全、ローカルルール対応、バリアフリー化、情報化、維持管理、防災対策等の最新情報を得る」ことを目的としています。

なお、本講習会は国土交通省の後援を受けております。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,500円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
非会員.....15,000円〔 " " 〕
(聴講のみの参加も受付けます)

現場研修料：..... 8,900円〔うち昼食代1,200円〕
(現場研修のみの参加はお断りしております)

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。

申込金が同封されていないか、銀行振込の(写)が添付されていない場合は受理できません。

また、講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。

申込書送付先：社団法人 全日本建設技術協会 事業課 ☎03(3585)4546
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 0311142

口座名義：社団法人 全日本建設技術協会

お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「477」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成15年8月8日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。)

取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

【返金方法】

平成15年8月18日(月)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年8月25日(月)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。<http://www.zenken.com/>

第477回建設技術講習会(道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)日程

道路行政、港湾行政・漁港行政に係わる動向として、事業評価、環境保全、ローカルルール対応、バリアフリー化、情報化、維持管理、防災対策等の最新情報を得る

聴講.....平成15年9月3日(水)、4日(木)

現場研修.....平成15年9月5日(金)

会場.....【合同、道路】札幌市民会館(ホール)

【港湾・漁港】札幌市民会館(会議室)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 TEL 011-241-9171

1日目 9月3日(水)【合同】ホール

10:00	あいさつ	北海道開発局長 北海道知事 札幌市長	平野道夫 高橋はるみ 上田文雄
10:20	”		
10:20	ユーザーオリエンテッドな 行政マネジメント	東京大学大学院工学系研究科 社会基盤工学専攻長 教授 工学博士	家田仁
12:00			
13:00	建設工事と地球環境	北海道大学名誉教授 工学博士 北海道環境アドバイザー・環境ネット トワーク北海道代表	神山桂一
14:00			
14:10	【特別講演】	社団法人北海道開発技術センター	原文宏
15:10	ウィンター・シティーの形成と今後の展望(仮題)	理事 工学博士	
15:20	【地域における技術苦労話】	札幌市企画調整局総合交通対策部 交通企画課 都心交通担当係長	小島純
15:50			
	【現場研修事業の紹介】		
15:50	小樽港湾整備事業	国土交通省北海道開発局 小樽港湾建設事務所 第一計画課長	三原一憲
16:10	滝野すずらん丘陵公園整備事業	国土交通省北海道開発局 国営すずらん丘陵公園事務所 工務課長	林華奈子
16:30			

2日目 9月4日(木)【道路】ホール

9:50	成果主義の道路行政マネジメント ～評価・マネジメント・説明責任～	国土交通省道路局企画課 道路事業分析評価室 企画専門官	大庭孝之
10:50			
11:00	沿道環境の改善と地球環境の保全	国土交通省道路局道路環境調査室 室長	桐越信
12:00			
13:00	人優先の道づくり	国土交通省道路局地方道・環境課 道路交通安全企画官	三浦真紀
14:00			
14:10	道路の管理に関する最近の取り組み	国土交通省道路局国道・防災課 課長補佐	渡邊茂
15:10			
15:10	閉会のあいさつ	札幌市建設技術協会長	田中透
	地域の独自調査		

2日目 9月4日(木)【港湾・漁港】会議室

9:50	環境、リサイクルに配慮した新しい 漁港漁場整備について	水産庁漁港漁場整備部整備課 課長補佐	横山純
10:50			
11:00	港湾技術をとりまく状況	国土交通省港湾局環境・技術課 専門官	池田哲郎
12:00			
13:00	既存港湾ストックの有効活用について	国土交通省港湾局建設課 港湾保全対策官	岸谷克己
14:00			
14:10	最近の海岸行政について	国土交通省港湾局海岸・防災課 課長補佐	山田哲也
15:10			
15:10	閉会のあいさつ	北海道建設技術協会長	猪股茂樹
	地域の独自調査		

【現場研修】 3日目 9月4日(木)、5日(金)

平成15年9月4日(木) 講習会終了後大通りバスセンタービル前(16:30)出発

→(R230) →洞爺湖宿舎泊(19:00着)

平成15年9月5日(金) 洞爺湖宿舎前(8:20)出発

→板谷川災害関連緊急砂防工事(有珠山西山火口散策路)・西山川災害復旧工事

→道央自動車道 有珠山噴火災害復旧事業 →昼食(小樽市内)(12:00~12:50)

→小樽港湾整備事業 →(朝里IC) →札幌自動車道・道央自動車道 →(北広島IC)

→滝野すずらん丘陵公園 →新千歳空港(16:00)着後解散 →JR札幌駅(17:30)着後解散

上記講習会日程は都合により、講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第477回建設技術講習会「現場研修主な立ち寄り先の概要」

1. 道央自動車道 有珠山噴火災害復旧事業 虻田郡虻田町

平成12年の有珠山噴火活動に伴う地殻変動により、道央自動車道では噴火口から約700m離れた虻田洞爺湖IC付近で、8mの水平移動と6mの隆起が観測され、トンネルや橋梁は多大な被害を受け、舗装路面、建物や道路情報板にも飛来した噴石による損壊があった。臨時火山情報が発表されてから、24時間体制で緊急点検、情報提供、関係機関と連携した情報収集、有珠山監視体制への協力、連絡調整を行った。地殻変動の影響を受けていることから、目視点検のほか、測量による線形の変状の把握、橋梁の杭のボーリング調査による損傷の把握、橋梁載荷試験による健全度の把握、切土のり面の傾斜計等による変状の把握、トンネル内覆工コンクリートや舗装の取り壊しによる支保工やインバートの損傷の把握などを行い、構造物ごとに復旧工法を検討した。復旧工事には、橋台やトンネル覆工を再施工する工事もあったが、厳冬期においても昼夜連続作業により進められ平成13年6月30日に全線の復旧工事が完成した。この道央自動車道の復旧工事完成は洞爺湖温泉街を始めとした被災地域の復興に大きく寄与している。
(平成13年度全建賞 日本道路公団)

2. 板谷川災害関連緊急砂防工事・西山川災害復旧工事 虻田郡虻田町

噴火災害の中で板谷川では、泥流による土砂災害防止が、西山川では泥流により発生した被害の拡大防止及び早期復旧が緊急課題とされた。しかし、火口を中心にした広い範囲が火山活動に伴う避難指示地区であり、立入禁止であったため、有人による有効な対策工事が実施不可能であった。

このため無人化施工により工事を実施した。これにより板谷川における4万 m^3 の遊砂地工事、流出したコンクリート橋梁の破壊、除去、流路工内2万 m^3 の堆積物掘削・搬出を可能にした。

(平成12年度全建賞 北海道室蘭土木現業所)

3. 小樽港湾整備事業 小樽市築港2-2

1. 多様化、高度化により増大する物流需要に対応するため、既存埠頭の再開発による港湾施設の機能更新を図る。
2. 交流拠点を形成するため、対岸諸国等との国際交流の進展に対応した旅客埠頭機能の確保を図る。
3. 海洋性レクリエーション需要に応じ、マリーナ施設の拡充や周辺環境と調和した緑地等の親水機能の確保を図る。
4. 大規模地震災害時の緊急避難、緊急物資輸送の対策を進めるとともに、震災時における経済活動を支える物流の確保を図る。
5. 港湾と背後地域との連絡を図るとともに、港湾内の円滑な交通を確保するため、臨港交通体系を充実強化する。
(国土交通省北海道開発局 小樽開発建設部 小樽港湾建設事務所)

4. 滝野すずらん丘陵公園 札幌市南区滝野247番地

滝野すずらん丘陵公園は、その規模が広域的見地から、国営公園として位置づけられており、都市公園法に基づき整備される全国有数の公園である。国営公園としては北海道唯一、全国的にも最北に位置する公園で、札幌市街から南へ18km、車で約30分ほどの札幌市南区滝野地区にあり、美しい「すずらん」が咲き乱れる丘陵地からその名がつけられた。

(国土交通省北海道開発局 札幌開発建設局 国営滝野すずらん丘陵公園事務所)

第477回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

- 宿泊料金：宿泊希望者には札幌市内のホテルを別記のとおり斡旋いたします。
 斡旋する宿舎のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
- 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
- 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
- 送金先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 ☎03(3272)2411 FAX03(3272)3169
 銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座 1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-12（第6中央ビル5F）
 お振込の際は、振込名義の前に「477」とつけ加えて下さい。

取り消し・返金について

平成15年8月18日(月)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 8月25日(月)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

- ・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

札幌市内 平成15年9月2日(火)・3日(水)・5日(金) (洋室：1泊朝食付、サービス料込・税金込)

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
札幌第一ワシントンホテル	札幌市中央区北四条西4 TEL：011-251-3211	シングル	50名	¥8,800
チサンホテル札幌新館	札幌市中央区北二条西2-9 TEL：011-222-6611		100名	¥8,400
札幌リッチホテル	札幌市中央区北一条西3-3-10 TEL：011-231-7891		80名	¥8,400
ススキノグリーンホテル1	札幌市中央区南四条西2 TEL：011-511-4111		50名	¥8,100
宿泊斡旋人数合計			280名	

- 朝食なしをご希望の方には、札幌市内のすべての斡旋宿舎において対応いたします。
- 9月5日(金)の宿泊を申し込まれた方で現場研修に参加される方は、解散場所の千歳空港から札幌市内までの無料バスをご利用できます。詳しくは会場にて案内いたします。
- なお全ての宿舎は先着順に本会で宿舎割りいたします。

北海道虻田郡虻田町内 9月4日(木) (和室相部屋：1泊2食付、サービス料込・税金込)

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
洞爺湖万世閣	虻田郡虻田町内字洞爺湖温泉町21 TEL：0142-73-3500	和室 相部屋	200名	¥11,500
洞爺プリンスホテル湖畔亭	虻田郡虻田町字洞爺湖温泉町7-8 TEL：0142-75-2211		200名	¥11,500
宿泊斡旋人数合計			400名	

- ・部屋タイプは、4～5人の相部屋となり他の協会の方と同部屋となる場合もありますのでご了承ください。
- ・非喫煙者の方同士の部屋を洞爺湖に限り設定しますので、希望される方は申込欄(9/4)に印を記入して下さい。
- ・お申込後、宿舎が決定次第、宿泊料、宿舎及び所在地等協会宛にご通知いたします。
- ・9月5日(金)朝の出発場所は上記の宿舎駐車場からとなりますので、なるべく上記宿舎にご宿泊ください。

宿舎案内図



第477回建設技術講習会の団体航空便斡旋について

下記の要領にて、団体航空便を斡旋致します。この航空代金は斡旋のこの便に限り有効となるものです。

この金額による別の便への変更は出来ませんので、ご注意下さい。

なお、往路又は復路のみの申し込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄にA～Fを記入願います。

- ・航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方には通知いたします。
- ・定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
- ・航空運賃は申込と同時に金額を別記旅行会社宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

9月2日（火）講習会前日

記号	搭乗区間（発着予定時刻）	便名	斡旋席数	航空代金
A	羽田 札幌 (16:30) (18:00)	JAL529 (日本航空)	60席	14,500円
B	伊丹 札幌 (15:15) (17:05)	JAL579 (日本航空)	20席	19,000円
C	名古屋 札幌 (15:30) (17:05)	ANA711 (全日空)	20席	18,000円

9月5日（金）現場研修当日

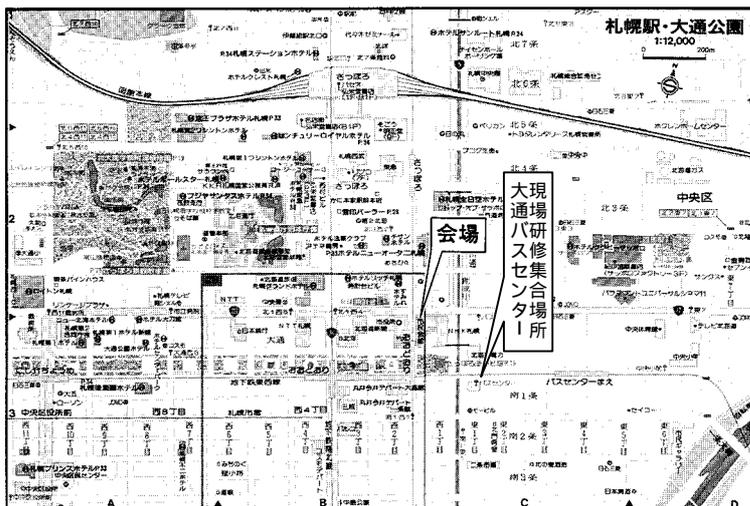
記号	搭乗区間（発着予定時刻）	便名	斡旋席数	航空代金
D	札幌 羽田 (16:50) (18:20)	JAL526 (日本航空)	60席	15,500円
E	札幌 伊丹 (17:15) (19:05)	ANA778 (全日空)	20席	19,000円
F	札幌 名古屋 (17:00) (18:35)	JAL858 (日本航空)	20席	19,000円

- ・上記料金には、航空保険特別料金（1区間300円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛にご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約40分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更はできません。
- ・お乗り継ぎの場合、30分以上のお乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道1席につき下記取消料がかかります。（ご予約の変更はできません。）

記号	搭乗区間	8/19～8/25 に取消した場合	8/26～8/29 に取消した場合	8/30以降便出発まで に取消した場合
A～F（全便共通）		3,000円	6,000円	9,000円

会場案内図



- ・千歳空港より「JR札幌駅」まで快速で36分（片道1,040円）
- ・JR札幌駅より地下鉄東豊線で一駅「大通駅」（片道200円）下車徒歩2分
- ・千歳空港よりJRで27分乗車、新札幌乗換え、東西線で18分乗車、「大通駅」下車徒歩2分（片道1,160円）

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成15年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別・賛助会員名)

第477回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		非 会 員 道 港	昼 食 不 要 (×印)	現 場 研 修	予約日に		印を記入		航空便申込	
(フリガナ) 氏名 (参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい)	年 齢		道路	港湾				札幌	洞爺湖	札幌	A~Fを記入		
			正 会 員	非 会 員				9 / 2	9 / 3	9 / 4	9 / 5	往 路	復 路
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
聴講料								(航空便申込はA~Fを記入)					
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 9,500円 =	円			↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません		宿泊予約金 泊 × 4,000円					
" (昼食不要)		名 × 7,900円 =	円					航空便					
非会員		名 × 15,000円 =	円					往路	名 ×	円			
" (昼食不要)		名 × 13,400円 =	円					復路	名 ×	円			
現場研修料		名 × 8,900円 =	円										
		計	円					計	円				

非会員の申込は道路道、港湾は港と区別して記入願います
9/4の洞爺湖泊で禁煙部屋を希望する場合 印を記入して下さい

全建に振込

西鉄旅行に振込

〔申込にあたっての注意事項〕

宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
 申込金を銀行送金される場合、銀行振込の(写)を申込書に必ず添付して下さい。
 申込の締め切り日は平成15年8月8日(金)です。
 斡旋します宿舎は1泊朝食付きです。
 特別会員・賛助会員の方は正会員(聴講者別欄)の枠内に 印を記入して下さい。
 非会員の申込は道路=道、港湾=港と区別できるよう記入して下さい。

(昼食について)

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
 当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
 現場研修の昼食について：
 現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。